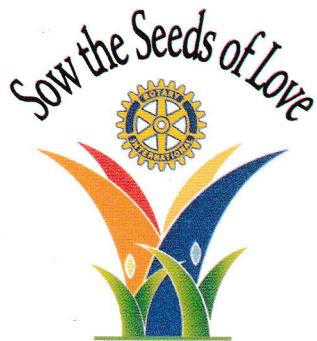




THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報



Bhichai Rattakul
RI President, 2002-03

ロータリー財団月間

第763回 平成14年11月 6日（水）

〔本日のプログラム〕

1. 点 鐘
2. 国 歌 齊 唱
3. ロータリー ソング
「奉仕の理想」
4. 「四つのテスト」 唱和
5. 食 事
6. 会長の時 間
7. 幹事 報告
8. 委員会 報告
9. 11月セレモニー
10. 点 鐘

次回予告

- ★11月13日（水）
ゲスト卓話
町長 戸敷 正氏

★11月20日（水）

- フォーラム
(ロータリー財団月間にあたって)
クラブ協議会

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週水曜日 (12:30~13:30) 会長 宮原 建樹
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 林 厚雄
事務局 宮崎県佐土原町大字下郷河3887-17 幹事 中武 幹雄
☎880-0212 会計 佐藤 高元
TEL及びFAX 0985-73-7170 会報委員 池田 仁志

第762回例会記録

(2002.10.30)

☆会長の時間

会長 宮原建樹君

本日は第762回の例会です。

先週の例会でお願いしてありました、

GSEのお迎え時のワゴン車の手配の件ですが、菊地ガバナー補佐から、軽トラックの方が都合が良いと云う事でしたので、私が用意致します。

関係委員の方々にはメンバー表が配布されておりますが、今回のGSEメンバーを再度、紹介します。

リーダーが歯科医ながら、建築家でもある女性、日本の家屋、ビル建設の基礎から、完成迄の工程を見学出来る研修を希望と云うことです。

メンバーに弁護士で36歳の男性、この二人は既婚者、残り3人は25歳から27歳の独身者で、教育研修副部長とIT技術者の男性、教師補助職の女性、の5人の方です。

昨年のGSEメンバーは宮崎に滞在中にカップルが出来て、何しに来たのか分からぬ、と盛んに云われましたが…

メンバーの中に25歳の教師補助職の女性がおりますが、この方が日本語を中級程度話される様ですので、この方を語学の方は頼りにすれば、何とかなるのではないかと思います。

尚、当クラブの世話役として、私と幹事、GSE委員長の3名で当たります。

今月は職業奉仕と米山月間です。本日は最後の週になりましたが、職業を通して何が出来るのか、改めて考えたいと思

います。後ほど米山獎学委員長の岩切正司君にお話をしても頂こうと思います。

時間が余りましたら、例会出席表の順番で、3分間スピーチをして頂きます。本年度の始めに楽しい例会作りと云うことで、全員参加の例会にしたい…と云つておりましたが、本日がはじめてになります。

食事時間を少しきり上げて、出来るだけ皆さんの声を聞く機会を設けたいと思います。よろしくお願ひいたします。

☆幹事報告

幹事 中武幹雄君

1. 例会変更通知

①11月15日（金）は職場訪問のため、

時間 12:30~

場所 ホテルJALシティ宮崎 に変更

宮崎西 RC

②11月18日（月）は

日時 11月16日（土）

場所 鹿児島東急イン に変更

宮崎南 RC



☆出席報告

委員長代理 田 村 勝 二 君

会 員 数	27名
例 会 出 席 者	20名
出 席 率	74%
メークアップ者数	2名
修 正 出 席 率	81%
欠 席 者 名	神宮寺、宮本、太田、村岡、近藤、

☆親睦委員会

委員長 梶 田 興之助 君

地区大会の日程の件で報告致します。

11月15日（金）7:00 役場駐車場出発
高速道→鹿児島北インター→
知覧カントリー着 9:50分
(マイクロバス)

*知覧カントリーで、濱田松太郎君と
垂水敏雄君の2人を「かんぽの宿
指宿」の支配人が知覧観光に案内
されるとの事です。

ゴルフをされる方

ゴルフのスタート 10:28 分

尚、ゴルフ料金はパックになってお
りますが、各自ゴルフ場にて、お支払
い下さい。

プレー代は4 パックで1人¥9,300
3 パックの時はプラス1人¥700 にな
ります。

宿泊は1泊2食宴会つきで、¥12,700

でお願ひしております。 飲み物
付きですが、飲み放題ではありませんので、焼酎等の持ち込みをやりたいと思
います。 よろしくお願ひ致します。

☆米山奨学会委員会

委員長 岩 切 正 司 君

今月は米山月間に当たります。

先週の金曜日（25日）当石崎浜荘にて
宮崎北RCの世話で、米山奨学生5名と
その家族数人が1泊の研修をするとの事
で、参加の要請があり、私が代表して出
席致しました。

その時の報告と共に米山奨学会委員会の
話を致します。

米山奨学金というのは、米山梅吉氏が
創設されたロータリーで最大の奨学金制
度であります。この奨学金は外国の方を
日本で勉強させるためにお金を出す、と
いうものであります。

昨年は999人の方に1人当たり、200万
円、20億の奨学金を出しております。

5名の奨学生は韓国の方2名、中国か
ら2名、インドの方1名で、1人はこの
前、当クラブに見えた、西都RCがお世
話されているチベットの人も入っており
ます。色々奨学生とお話ししました
が、日本語がみんな上手なのには驚きま
した。そして時間をきっちり守る方達ば
かりです。勿論、学力も良くないといけ
ません。

先だって見えたチベットの宋仁徳君は現
地の学校では助教授だそうです。彼はチ
ベットの方で月給4万円を貰っているそ
うです。普通の人が約2万円の月給です

すので、倍の給料ですね。その彼が云つておりました「私達はこの奨学金のお陰で月約18万円のお金を貰って勉強させていただき、大変幸せです。」と現在の日本人より恩義を感じている様子がうかがえました。

フィリッピンの人が米山奨学金で勉強し、本国で仕事に就き、私が勉強出来たのは米山奨学金のお陰であると、財団に100万円寄付をしたとの話もあります。

先述の宋君は中国でロータリークラブが出来る国に変わったら、1番にロータリークラブを作りたい、ロータリーはお金を出してくれるから、好きなのではない、ロータリーの奉仕の精神が素晴らしいから、本国に帰ったら、立派な社会人になり、奉仕のできる人間になりたい…と云っていました。

素晴らしい精神の持ち主です。また、韓国から来た大学の先生も「奉仕の精神を持つ事が理想です」と云っていました。昔日の日本人の心に近いものが彼等はある、と感じました。

現在の日本人には中々、そのような感情は無いような気が致します。

私達ロータリアンの寄付金で成り立っている、米山奨学金のお陰で、約1,000人の方々が勉強できるわけであります。米山奨学生の申し込みをしても合格できなくて、自費で日本に留学している人は沢山います。

その人たちはアルバイトをしながらの勉強はとても大変だとのこと。

我々はお陰様で研究に勉強に没頭出来るのもロータリーのお陰と彼等は云っていました。

私もこのような集まりに参加して、ロータリーはとても良いことをしているのだ

なーとじかに感じました。

当クラブも昨年より始めました、1人当たり、1万円を、どうぞ今年度中に会計の方に寄付していただきますよう、お願いしたいと思います。

米山功労者30万円というコースもあります。

米山奨学金に寄付するという行為は、小さな苗木を植えて何十年後に大木になるというような気持ちを込めることだと思います。『将来素晴らしい実になる』ことをイメージして下さい。

戦後、日本が貧しかった頃、アメリカに留学していた人達はアメリカで180万円から200万円援助を受け、勉強していた人達もおります。アメリカも日本人に、そのような事をしてくれていたわけあります。

私達も少しでもお返しのできる人間になれば、幸せなことです。



Annotation

(ロータリーの友より)

アーサー・F・シェルドン

ロータリー第2標語である「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というスローガンを掲げた初期ロータリーの指導的人物。

利益は利己主義よりも、人間性に根ざした目的と結びつくべきであり、職業は社会の最良の利益に奉仕しようという願望であると説いた。

